

①多文化共生のコミュニティ・デザイン

～定住外国人にとって住みやすい日本になるには?～

担当者 川中 大輔



京都の在日コリアンの方々との交わりを中心に、多文化共生まちづくりの問題を具体的に捉え、その問題解決のための活動を企画・実施します。

②コミュニティの情報発信！レク龍プロジェクト

担当者 久保 和之



滋賀県レクリエーション協会の広報活動について、広報誌の編集発行作業・ホームページの管理運営などの仕組みや内容を学ぶとともに、現状の問題点を探り、解決に向けて企画・運営していきます。

③農福連携で地域をつなぐ

～「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」

担当者 坂本 清彦



障がい者、高齢者、生活困窮者らが農業に携わる「農福連携」を通じて、多様な人々が地域社会とつながり、いきいきと暮らせる共生社会の実現に向けた課題発見、解決のための企画・実践をめざします。

④お寺の可能性を引き出そう！

～社会におけるお寺の役割を考える～

担当者 猪瀬 優理・古莊 匡義



いまお寺では、仏教に関わりのない人も参画して、地域の居場所やつながりをつくる活動が行われています。そうしたお寺の社会活動に参加しながら、地域におけるお寺の役割と可能性を考えます。

⑤いくつになっても、出かけられる！

～高齢者を元気にする介護ツアー企画～

担当者 高松 智画



介護が必要な高齢者に楽しんでもらえる日帰りツアーの企画から実施、評価を行います。基本的な介護技術を習得するとともに、高齢者をとりまく課題などについて考察します。

⑥障がいがある子どもたちの放課後支援

担当者 土田 美世子



放課後等デイサービスでの活動を通じて、障がいがある子どもとの具体的な関わり方、放課後支援の意義を学び、障がいがある人と共に生きる社会について考えます。

⑦自治体をPRしてみる！

担当者 岸本 文利



地域の魅力を映像ツールでPR。映像制作スキルは放送局OBが指導します。舞台は大阪・門真市と滋賀・高島市の棚田。何をPRすれば面白いかは一緒に考えます。社会で通用する広報力を磨きます。

【応募方法】

期 間：1/12(金)～2/29(木)15:00 <時間厳守>

手続方法：ポータルサイトのアンケート<【重要】2024年度「社会共生実習ⅠA～ⅢB」事前登録について>にて、希望プロジェクトの志望動機など、必要項目を回答してください。

結果発表：受講が許可された場合は、3月上旬にポータルサイトのお知らせにて発表します

社会共生実習
Webサイト2024年度募集要項／
プロジェクト紹介冊子